

KOGAカルチャーでお楽しみ会 会員らが集まり発足40年目祝う

KOGAカルチャー・苦小牧着文化伝承研究会(古賀孝子会長)の「お楽しみ会」が12月1日、グランドホテルニュー王子(苦小牧市表町4)で開かれました。

同会は苦小牧市内に着物文化の素晴らしさを伝えていこうと、1979年に活動をスタートしました。お楽しみ会は40年目を迎える記念として開催し、古賀会長(81)と会員13人が出席しました。

還暦を迎えた会員へのお祝いや北海道着付け技能コンテスト大会出場者の紹介のほか、着物の柄置きや帯結びなどの説明も。古賀会長は「これからも着物を通じて日本古来の伝統文化を広めていきたい」と笑顔を見せました。

★同会会員の佐藤郁子さんが代表を務める「着付けサークル 檜(ひのき)の会」は、生徒を募集しています。毎週木曜日の午後6時半から、苦小牧市文化交流センター(本町1)で活動。問い合わせは同センター(☎0144-33-8131)へ。



▲着物の素材や帯などを説明する古賀会長(右)



いきいきひろば

もうすぐクリスマス サンガーデンでリース作り

苦小牧市サンガーデン(末広町3)で12月1日、「クリスマスリースづくり」が行われ、25人の親子が参加しました。

ドーナツ型に切ったダンボールを土台に、ワイヤーを付けたマツボックリや帝王貝細工、クラスペディアなどの花を飾り付け。子どもたちは自分で配置を考えながら楽しく作業していました。

幼い子ども向けのコーナーでは、マツボックリにラメ入りのペンで色を付け、ビーズなどを飾り付けたミニクリスマスツリー作りも行われていました。



操作しながらのパスや シュートに苦戦! 車椅子バスケット教室

苦小牧市福祉ふれあいセンター(双葉町3)で12月1日、「車椅子バスケットボール教室」が行われました。市民らに障がい者スポーツに親しんでもらおうと企画。ポッチャやフライングディスクなどに続き、今年4つ目となる教室として開催しました。集まった市民らは、車椅子バスケットボールチーム「苦小牧WBC」のメンバーから車椅子の操作を学び、ドリブルやシュートを練習。その後、ゲーム戦を楽しみました。競技を体験した本間仁子さん(錦岡小5年)は、「いつもは使わないような筋肉を使ったので難しかったです。動いているうちに少し上手になったと思います」と話していました。

金剛園杯争奪小学生アイスホッケー バーニングバレットが全勝で連覇



▲攻撃力と堅い守りで連覇を果たしたバーニングバレット

第9回金剛園杯争奪兼全道小学生アイスホッケー選手権大会苦小牧予選が11月24、25日2日にダイナックス沼ノ端アイスアリーナ(苦小牧市北栄町3)などで行われ、バーニングバレットがリーグ戦4連勝(勝ち点12)で2連覇しました。2位は通算3勝1敗(勝ち点9)のレッドスターズ、3位は同2勝2敗(勝ち点6)のBLUEサンダーズが続きました。上位3チームは来年1月上旬に苦小牧市内で開かれる全道大会に出場します。苦小牧小学生アイスホッケー同好会連合会に加盟する市内5チームが出場。全道出場を賭け、リーグ戦10試合の熱戦を繰り広げました。バーニングバレットの白水(しるず)竜之介主将(緑小6年)は、「ゴールキーパーのフィンプレーをはじめみんなの守りがどんどん攻撃力につながりました。昨年の全道大会も優勝しているのだから、自分たちにしかできないプレーで2連覇を目指したい」と抱負を語りました。一條友樹監督も、「6年生が中心となりチームを引っ張って、少しずつ点数を積み重ねました。全道大会でも、守りを中心にリズムをつかんで2連覇したい」と話していました。